

2020 / vol.13

CONTENTS

- 経皮的心房中隔欠損閉鎖術1例目完遂
- 医師着任のごあいさつ
- 地域連携ニュース

N_{医療機関向け広報誌}ews Letter



社会医療法人 孝仁会

北海道大野記念病院

ごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。本年もどうか宜しくお願い申し上げます。

2020年、当院は開院して4年を過ぎ、日々、地域医療に微力ながら貢献させて頂いております。これもひとえに皆様の温かいご支援、ご指導があったからと感謝いたしております。

今年も当院の理念にある「患者様が安心してかかれる、患者様を安心して預けられる病院」を目指し、患者様を第一に考えた医療を提供していきたいと思っております。また、当院の高機能医療機器を最大限に活用し、患者様に優しく、より安全で、侵襲の少ない医療を選択すると共に、地域の救急医療にも貢献できるよう努力してまいります。

がん、脳卒中、心臓病の三大疾病と運動器疾患を中心とした高度急性期病院としての、地域から期待され担うべき役割、医療機能を発揮し、かつ、医療と介護を含めた切れ目のない地域との連携を積極的に取組み、地域から信頼される病院を目指し、職員一丸となって取り組んでまいります。どうか皆様の変わらぬご支援の程を何卒、宜しくお願い申し上げます。

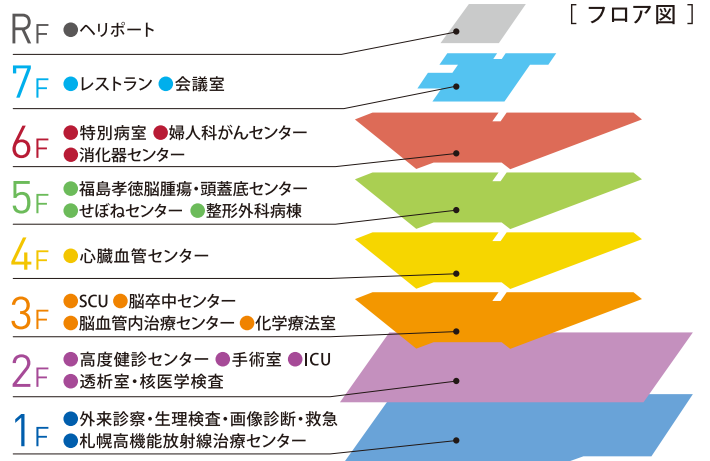
社会医療法人孝仁会
北海道大野記念病院 院長

大川 洋平

Youhei Ohkawa

北海道大野記念病院 概要

- 開設日 2016(平成28)年10月15日
- 所在地 〒063-0052
札幌市西区宮の沢2条1丁目16番1号
- 敷地面積 12,117.93㎡
- 延床面積 26,659.82㎡
- 構造 鉄筋コンクリート造+鉄骨造
- 階数 7階
- 病床数 276床(一般病棟、ICU、SCU)
- 手術室 8室(術中MRI、O-arm、ハイブリッド室、ダヴィンチXi)
- ICU 18室(個室化したICU)
- 診療科目
脳神経外科、心臓血管外科、消化器外科、整形外科、頭頸部外科、外科、乳腺外科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、糖尿病内科、腎臓内科、脳神経内科、内科、腫瘍血液内科、婦人科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、麻酔科、放射線治療科、放射線診断科、病理診断科、リハビリテーション科
- 主要対象疾患
がん、脳卒中、心臓病の三大疾病と運動器疾患
- 専門外来
脊椎脊髄外科、東洋医学診療科
- 専門部門
福島孝徳脳腫瘍・頭蓋底センター、心臓血管センター、せぼねセンター、脳卒中センター、脳血管内治療センター、消化器センター、婦人科がんセンター、札幌高機能放射線治療センター、高度健診センター
- 健診事業
人間ドック、特定健診に加え、脳ドック、心臓ドック、PET-CTを駆使したがんPET/CTドック、レディースPET/CTコース(マンモPET)など最新の医療機器を用いた高度な健診事業



経皮的心房中隔欠損閉鎖術 ASD

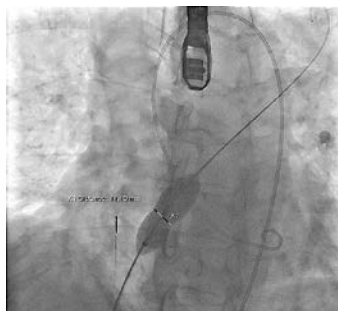
当院1例目を完遂！

2019年4月1日、道内では4施設目となる「経皮的心房中隔欠損閉鎖術」(ASD)の施設認定を受け、当院1例目とし、50代の女性患者へ実施しました。



患者様は50代の女性で、気管支喘息の既往があり、気管支喘息の治療を行っても、労作時の息切れを認めた。他院にて経食道心エコーを行い、心房中隔二次孔欠損(ASD)を認め、当院に紹介になった。

当院では、先述の通り昨年4月に経皮的カテーテルによるASD閉鎖術に対する施設認可が下り、カテーテル治療を行える状況である。経食道心エコー検査は、カテーテル治療をする上で非常に重要であり、この患者様は8×5mm程度の欠損孔に加え、その周囲の支持組織(リム)も十分にあったので、カテーテル治療のよい適応と判断した。



【図1】バルーンサイジング



【図2】閉鎖栓

さらに、当院では、最新のカテーテル閉鎖治療に加え、開胸によるパッチ閉鎖術や侵襲性の少ない低侵襲心臓手術(MICS)も施行でき、心臓血管外科や麻酔科も含めたハートチーム協議の上、それらの選択肢の長所短所も患者様にご説明し、最終的には患者様がカテーテルによる閉鎖治療を選択された。

手術当日は、プロクター医師の東邦大学医療センター大橋病院の原医師、牧野医師の指導の下、カテーテル室にて、全身麻酔管理とし、経食道心エコーによるモニタリングと治療のガイドを行った。両鼠径部の静脈よりシースを挿入し、片方は心腔内エコーを行い、欠損孔の観察を行った。右鼠径部からの静脈シースから欠損孔をワイヤーで通過し、バルーンによる欠損孔のサイズ決定を行った。

この結果、適性のサイズである11mmの閉鎖栓を用いて、閉鎖に成功した。手術時間は2時間52分、透視時間は24分であり、術後も含めて合併症はなく終了した。1日ICUに入室したのち、術後6日で退院となった。術後1か月の経食道心エコー検査でも、閉鎖栓により欠損孔は安全に閉鎖され、逆流もないことを確認でき、労作時の症状も大幅に改善を認めた。今後当院には1年に1度受診をいただく方針となった。(三浦史郎 記)



(左上) 今井 嘉博 医師 (右上) 呉林 英悟 医師
(左下) 山下 武廣 副院長／心臓血管センター長 (右下) 三浦 史郎 医師

医師着任のごあいさつ (2019年10月～)

2019年10月から北海道大野記念病院消化器内科に着任した後藤です。以前は、恵庭市の恵み野病院で20年勤務し地域診療に当たって来ました。このたびご縁があつて、当院で勤務することとなりました。

消化器内科といっても、昨今は消化管、肝臓、胆膵など専門が細分化されていますが、私自身は特に何が専門ということはなく、「一般消化器内科」として消化器病の救急や悪性腫瘍、慢性疾患など何でも診てきました。特に悪性腫瘍の患者さんは、最初の診断から治療、終末期医療、在宅診療なども行っていました。

どちらかというと内視鏡診療は好きなので、今後は当院でも内視鏡診療を充実させていきたいと思っています。そのためには、我々医師だけでなく、看護部や臨床工学部門、検査部門など皆さんのご協力をいただかなければならないと考えております。まだまだ、慣れないことも多く各部門にはご迷惑をおかけするかと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

外来：火曜午後、金曜午前

消化器内科 主任診療部長

後藤 学
Manabu Goto

当院からのお知らせ

陽子線治療の保険診療を開始しました。

2019年12月1日より保険診療を開始しました。
公的保険適用の症例は下表のとおりです。
ご不明な点がございましたらお気軽にご相談ください。

北海道大野記念病院
札幌高機能放射線治療センター

●センター直通電話番号●

011-676-7419



1 希少な疾病に対して実施した場合	小児腫瘍(限局性の固形悪性腫瘍に限る)
	手術による根治的な治療法が困難である限局性の骨軟部腫瘍
	頭頸部悪性腫瘍(口腔・咽喉頭の扁平上皮癌を除く)
2 1以外の特定の疾病に対して実施した場合	限局性及び局所進行性前立腺がん(転移を有するものを除く)

※保険適用の無い症例は自由診療となります。

※当院は先進医療は取り扱っておりません。先進医療に該当する疾患は対応いたしかねますのでご了承ください。

地域連携ニュース

北海道大野記念病院 第5回 健康フェスタ2019

日程：2019年7月13日(土)

会場：札幌市生涯学習センター「ちえりあ」

1階ホール／ 6階講堂(西区宮の沢1条1丁目)

昨年で第5回目を迎えた「健康フェスタ」は、1980年オリンピックスキージャンプの銀メダリスト 八木弘和さんを講師に迎え、特別講演会を開催。

また、当院の整形外科 目良紳介診療部長による講演や、認定看護師による健康相談、頸動脈エコーなどを実施。当日は約200名の地域の皆さまにご参加いただきました。



第4回 コンサタウンふれあいフェスタ

日程：2019年8月17日(土)

会場：宮の沢ふれあい公園(西区宮の沢2条3丁目)

第3回の一昨年は、台風の影響で残念ながら開催することができなかった「コンサタウンふれあいフェスタ」。今回も直前まで開催が心配されましたが、当日は台風一過の晴天で、6,000人を超える過去最高の参加者数を記録。

当院は第1回目より救護ブースの運営と、血管年齢測定ブースで出展しており、看護師1名・コメディカル3名で参加してまいりました。



社会医療法人孝仁会30周年記念 市民講演会

日程：2019年10月14日(月祝)

会場：ロイトン札幌 ロイトンホール

(中央区北1条西11丁目)

10月14日(月・祝)ホテル「ロイトン札幌」にて孝仁会30周年を記念した市民講演会を実施しました。

講演会は三部制で、第一部が、当院の循環器内科主任医長 岩切直樹医師による「カテーテルで治療できる心臓手術」。

第二部は、名古屋市立大学病院 放射線科部長・教授 芝本雄太医師の「がんを切らずに治す最先端の陽子線治療とピンポイント放射線治療」。

第三部が、カロライナ 頭蓋底手術センター所長・デューク大学 脳神経外科教授 福島孝徳医師による「脳ドック、がんドックの勧め」。

以上、3名の医師による講演の他、当院健診センターの予約ブースの出展や、看護部による無料健康相談ブース等、約1,000名の市民の皆さまにご参加いただき、盛況に終わることができました。



北海道大野記念病院 市民公開講座

日程：第1回 2019年10月26日(土)終了

第2回 2019年11月30日(土)終了

第3回 2019年12月21日(土)終了

会場：札幌市生涯学習センター「ちえりあ」

2階中研修室(西区宮の沢1条1丁目)

昨年10月を皮切りに、市民公開講座を実施しています。

第4回は、1月25日(土)西区民センター(西区琴似2条7丁目)で循環器内科医長 小熊康教医師の講演を実施しました。

市民公開講座の今後のスケジュールについては、随時当院ホームページでご案内しております。



医療連携相談部より

新年を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。

日頃より、当院の運営に御協力頂き、ありがとうございます。

昨今の医療行政は、地域の医療機関が自らの施設の機能や規模、特色、地域医療の実情に応じて、より一層の役割分担を果たすことを求めています。おかげさまで当院は、昨年385施設と「提携医療機関」登録を結んで頂きました。この場をお借りして、深くお礼申し上げます。緊密な連携により、より一層患者様が其々の地域で継続性のある医療を受けることが出来るようになりますと思われる。

また、今後は御紹介頂いた患者様を適切、迅速に治療させて頂くとともに、安定した患者様を積極的に連携医療機関に紹介していくよう、取り組んでいく所存であります。今後とも連携医療機関の皆様から信頼して頂けるよう、職員一同研鑽してまいりますので、御高配、御指導よろしくお願い致します。当院に対しての、御要望等ありましたら、どうぞ御遠慮なく、地域連携室まで御連絡ください。



医療連携相談部 部長

長島 雅人
Masato Nagashima

2019年10月に前任より引継ぎ、医療連携相談部へ異動となりました、課長の瀬川真砂代です。今後どうぞよろしくお願いいたします。

私達は、良質な医療を提供できるよう重要な役割の多くを担っております。温かい心で信頼されるケアを提供し、効果的なチーム医療が推進できるよう多職種との連携を図りたいと考えています。

私自身は、これまで看護師として急性期の現場や在宅で活動してまいりました。医療連携部課長としては未熟なため、周囲のみなさまに助けられ役割を遂行している日々です。今後は、現場で培った視点や経験、知識等を最大限に活用しながら当院のみならず、地域医療の成長と発展に貢献していく所存です。

今後も引き続き地域包括ケアを視野に入れた地域との連携を強化し、顔の見える関係を深めて参ります。医療連携相談部スタッフ一同、皆様方のご意見やご要望を伺い、連携を重ねながら努力を続けてまいりますので、何卒どうぞよろしくお願い申し上げます。



医療連携相談部 課長

瀬川 真砂代
Masayo Segawa

患者様のご紹介は診療情報提供書を
医療連携相談部へFAXにてお送りください。

FAX直通番号

011-665-0123

【バス】
JR北海道バスまたは
北海道中央バス
「西町北20丁目」停車、
徒歩約2分

【地下鉄】
東西線「宮の沢」駅
5番出口から徒歩約6分
(地下道は
「ちえりあ」まで直結)



北海道大野記念病院 News Letter

Vol.13 2020年1月発行

発行者 社会医療法人孝仁会
北海道大野記念病院 医療連携相談室
〒063-0052 札幌市西区宮の沢2条1丁目16番1号
TEL **011-665-0020**(代)
FAX **011-665-0242**

<http://ohno-kinen.jp> 北海道大野記念病院 検索